

福岡市科学館がやってくる！

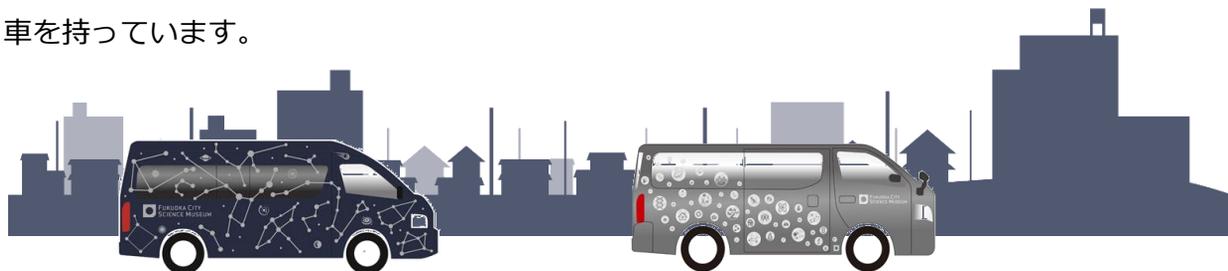
—福岡市科学館アウトリーチ活動プログラム募集要項—

福岡市科学館では、館内で行われているサイエンスショーやプラネタリウム投映を、公民館等に出向いて行う「アウトリーチ活動プログラム」の募集を開始いたします。

科学館が持っている実験や道具を科学館車に積み込んで、ご指定の場所で会場を設営、実験ショーやワークショップを行います。講師は科学館のスタッフが行います。

①科学館車とは？

福岡市科学館は、館内の実験ショーやワークショップを外部に派遣できるように2台の専用車を持っています。



○移動天文車：ミニプラネタリウムや天体望遠鏡を積み込み、天体観測や天文学習プログラムを学年や人数、開催時期に応じて出前するための車です。

○移動科学館車：様々な実験装置やワークショップツールを積み込み、科学実験実演プログラムやものづくり体験教室を、学年や人数、要望に応じて出前するための車です。

②参加人数は20名～100名程度

参加人数の設定は20名～30名です。

講堂などの広い場所の場合は、100名程度のプログラムも可能です。

※プログラムにより異なります。詳細はプログラムリストをご覧ください。



③準備は簡単で本格実験教室

用意いただくものは、基本的に実施場所と電源、駐車場だけです。

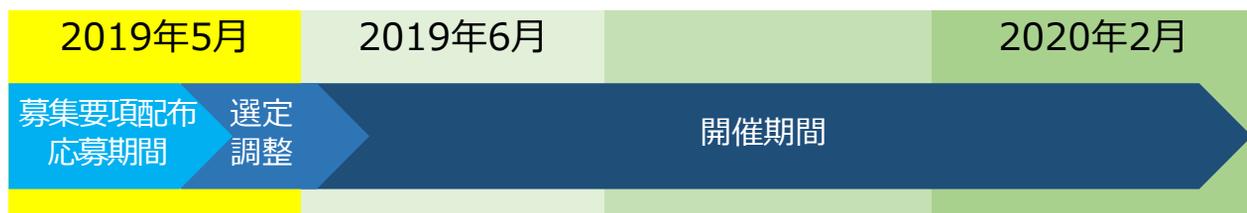
それ以外のもは科学館車に積み込んで、当日会場で出前スタッフが準備も実演も行います。

※ものづくりワークショップなど内容によっては材料費のみを頂く場合もあります。

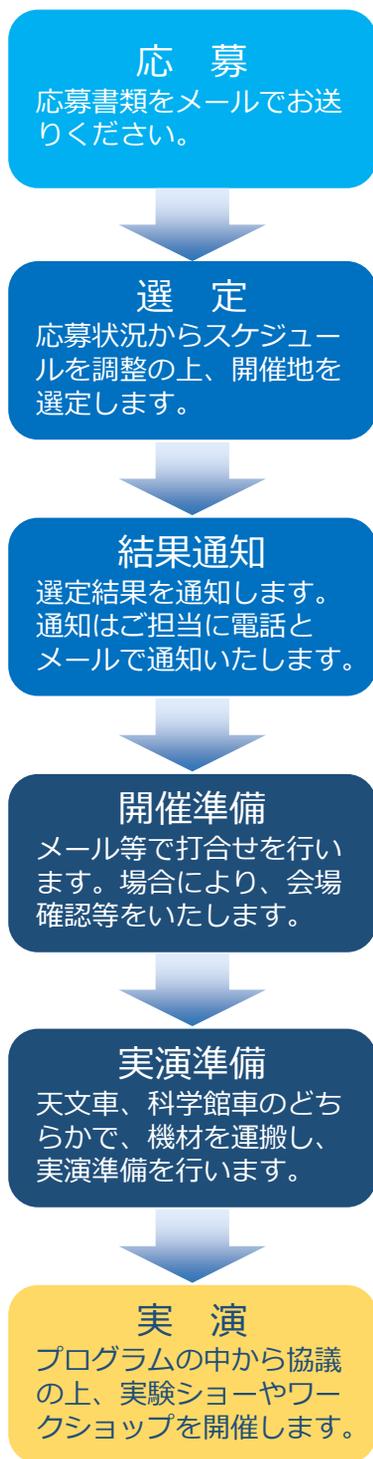
④募集方法

- 実施予定期間：2019年6月10日～2020年2月28日、火曜日を除く
- **応募期間：2019年5月28日（必着）**
- 応募方法：添付の応募用紙にご記入の上、**メール**で応募下さい。
- 応募できるのは福岡市内の団体、小児科病棟のある市内病院となります。実施日は応募状況によって調整させていただきます。
- ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■開催までの主なスケジュール



■開催までの準備フロー



プログラムリスト

タイトル		対象	概要		
A	宇宙探査ロボット	小3以上	自律的に動く宇宙探査ロボットをモチーフにしたロボットプログラミング体験を通じて、問題発見、解決力、論理思考力などを養います。	90分	30名 屋内
B	プログラミング体験	小4以上	パソコンまたはタブレット上で、スクラッチを使って簡単な動画ソフトを作るプログラミング体験。	45分 または 90分	30名 屋内
C	地球を図ろう	小5以上	日時計を使って影の動きから地球の自転速度をもとめ、緯度と経度を計算できることを学びます。	45分 または 90分	30名 屋外
D	太陽光の正体	中学生	簡易分光器で太陽光の分解を行い、さらに本格的分光器を用いて星（太陽）の温度がわかることを学ぶ光と天文の実験。	45分 または 90分	30名 屋外
E	超低温の世界	小3以上	マイナス196度はどんな世界だろう。液体窒素を活用した極低温世界の実験。	45分	100名 屋内
F	ドローン体験	小3以上	近年急速に活用されているドローンを実際に使ってみて、どんなことができるのか、どんな画像が取れるのか体験する体験型実験。	45分 または 90分	20名 屋内
G	空気の力	小3以上	目には見えない空気の性質を、空気の重さや圧力、空気砲など様々な方法で探る探査型思考実験。	45分	100名 屋内
H	ふうせんでロケット	小3以上	バルーンアート用の風船でロケットを作り、空気抵抗などを考え、より遠くへ飛ばすように工夫する創作型実験。	45分	30名 体育館
I	移動プラネタリウム	小3以上	移動プラネタリウムで星空の解説や番組を見ることができます。	45分	30名 体育館
J	天体観測	小3以上	2～3台の天体望遠鏡を使いながら、天体観測を行います。	60分 または 90分	50名 屋外

- 準備や片付けに前後とも1時間必要になります。
- 対象はあくまでも目安です。
- 応募される年齢層に応じて、解説や実験内容について、多少カスタマイズする予定です。
- プログラムの中には、天候に左右されるものがありますので、天候不順の場合は屋内で可能なプログラムに変更する場合があります。
- H及びIは体育館のような広い空間を必要となります、Iは準備と撤収に時間を要するため、半日場所を占有するものになり、電源は30A以上必要となります。
- Iはドーム内が高温になるため、7～9月は実施できません。